



いう対応も行った。

古くさいタイトルで恐縮だが、わが学園が男女共学に改編した際、復活した特進コースの四期生が大学入試に挑戦した。まだ実績に乏しいため四期生の在籍数は七人であったので七人の侍と勝手に名付けた。

一期生以降三期生まで少しずつではあるが着実に結果を出してきた。そして今年、四期生七人は次々と合格し前期終了時点で六人が希望通りの結果を出した。残す一人は九州でも難関といわれる大学にチャレンジし、後期はかなりの手応えがあったような報告

特進コースは



草野 義輔

だったので期待していたが残念な結果に終わった。侍の一人として捲土重来を期待したい。

四期生までの結果をまとめると、

重ねてきた。特進担当は毎日生徒の質問がある限り遅くまで残って指導をしているし、土曜日も当然ながらセミナー形式で指導を行っているの
で、通常塾で補う分もほとんどが校内で対処していることになる。理系を受験する二人の生徒のためには物理の専門の先生に特別に来てもらつと

地味ではあるが当初の目標であった近隣の国公立大学には十分に合格させる力がついたと言える。ちなみに今年の合格は熊本大、大分大、長崎大、山口大、大分県立看護大である。まだまだ苦勞と困難は続くと思うが幾分か光が見えてきたように思える。

(日田市昭和学園理事長)